

NoThreadset™

おめでとうございます!

あなたは世界で一番最高品質を誇るヘッドセットを購入されました。1976年以来、クリスキングは自転車愛好家に対して、最高の信頼のおけるヘッドセットを供給しています。適切な取り付け方法、メンテナンスを行うことで、最高品質の性能を長い間味わう事が可能になります。

•ヘッドセットの取り付け

ヘッドセットを取り付けるには、特別なツールが必要となります。取り付けの手順の指導はプロのメカニックによって行なわれる事をお勧めします。

適切な取り付けを確実にするために、専用工具ヘッドセット・カップ・プレス・アダプター・キットの使用をお勧めします。クリスキングのプレスアダプターは、ベアリングカップをヘッドチューブと一直線にさせ、ベアリングカップに均一にそして直接的に圧力をかけることにより、ダメージを防ぐ働きをします。ベースプレート・インスタレーション・アダプターは、クラウン・レース・セッティングツールの表面へのコニカルベアリングの接触を守る事によって、ベースプレートへのダメージを防ぎます。サイズは全てのヘッドセット・プレスツール、そして各メーカーのセッティングツールにフィットするように取り揃えてあります。

•ヘッドチューブの準備

ヘッドチューブの適切な準備は、ヘッドセットの性能を最高までに引き上げてくれます。例え、フレームが新しく、工場から送られて準備が整っているかのように見えたとしても、全てのヘッドチューブは、リーミングとフェーシングが施されていなければなりません。

①ヘッドチューブの穴が正確な直径、深さ、円形度であるかを確実にするためにリーミングを行います。正確に取り付けるためにヘッドチューブの内径が正確である事を確認してください(下記のテーブルチャートを参照) 20.0mmの深さを要する1.5インチのヘッドチューブを除いて、最小のリーミングにおける深さは10.0mmです。

②エンドが直角で、お互いに平行になっている事を確実にするため、ヘッドチューブをフェーシングし、そして、フレームヘッドセットのインターフェースから全てのペイントとアノダイゼーション素材を取り除きます。

③装着させる時にカップが金属部分を削りださないように、小さなやすり、もしくはサンドペーパーを使い、注意深く鋭敏な場所、またはささくれ部分を取り除き、ヘッドチューブ上下の内側のエッジを少しだけ丸みを帯びさせるか、または面取りを行ないます。

④削りカスやカuttingオイルを取り除いて綺麗にします。

⑤適切なプレスフィットはインターフェースにおいて0.1mm (0.004インチ)以上あってははいけません。ヘッドチューブの穴に関する詳細は下の表を見てください。

	Head tube bore (ID)	Crown seat OD
1"	30.1 mm	26.5 mm
1" BMX	32.7 mm	26.5 mm
1-1/8"	33.9 mm	30.1 mm
1-1/4"	36.9 mm	33.1 mm
1.5	49.6 mm	39.8 mm

•ベアリングカップの取り付け

①ヘッドセット・カップ・プレス・アダプターの表面が必ず綺麗な状態であるか確認してください。そして、ヘッドセットカップを装着する途中で傷つけてしまう危険性を減らすために、バリとりを行なってください。

②クリスキング・ヘッドセット・カップ・プレス・アダプターに適したヘッドセットカップ圧入工具を使用して両方のベアリングカップを押ししてください。ヘッドチューブのエンドに対して平行に装着できているか確かめてください。

•フォークの準備とベースプレートの取り付け

フォークの適切な準備はヘッドセットの性能を最大限に生かします。

①クラウンレース・シートがステアチューブと直角になっている事を確実にするためにクラウンレース・シートにリーミング、そしてフェーシングをします。クラウンシート・アウトターダイアミター (OD) が記してある上記の表を見てください。ベースプレートの適切なプレスフィットはインターフェースにおいて0.1mm (0.004")以下でなければなりません。

②削りカスやカuttingオイルを取り除いて綺麗にします。

③円錐型を上にして、ベースプレートステアチューブに装着させます。ベースプレートに対して、ベースプレート・インスタレーション・アダプターの斜めになっている側面と一緒にベースプレートをセットアップするためクラウンセッティング・ツールを使います。

•フォークステアチューブの切断

怪我をしないようにステアチューブを切断する時は特に気をつけて下さい。

①ベースプレートが装着されたフォークをフレームに挿入します。

②グリップロック・キャップの部品、もし必要ならばスパーサー、そして次にステアチューブにステムを装着させます。ステムとチューブの交わった上部に線を記しておきます。

③ステアチューブから部品を外し、最初に記した線の3mm下にもう一度、線を記します。その一番下の線を弓のこやソーガイドを使用して切断してください。

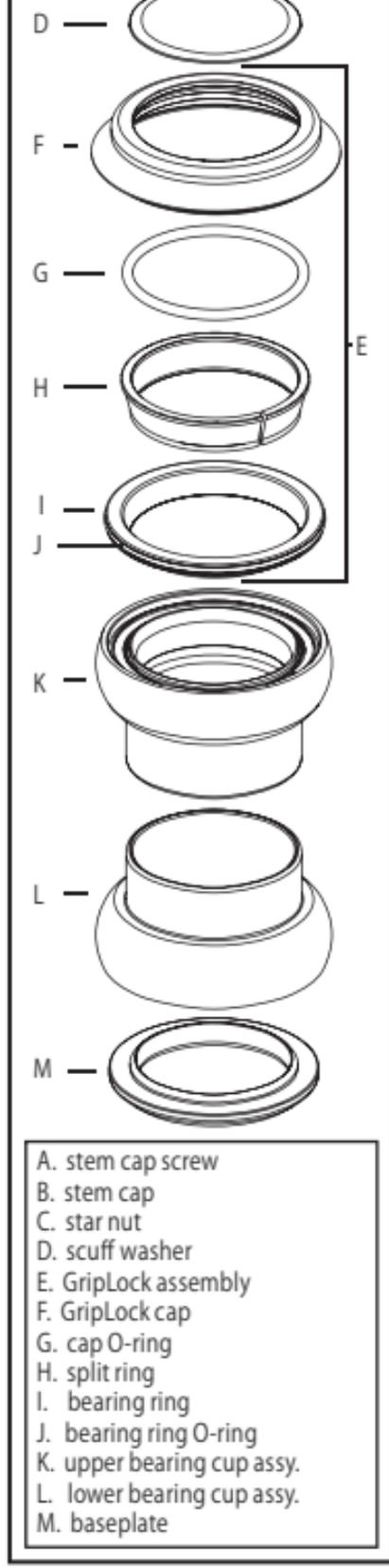
④ステアチューブの外側と内側にある尖ったエッジを取り除きます。装着する上でグリップロック・キャップ・オーリングを切ってしまうないように、やすりやサンドペーパーを使って、チューブの外側を丸くします。

•スターファンネルナットの取り付け

①スターナットをインスタレーションツールに装着してください。(もしインスタレーションツールが無い場合は、ボルトをスターナットに入れ、ステアチューブのトップから15mm下までスターナットを動かして下さい。)

②ソフトハンマー、もしくはマレットを使い、スターナットをツールがステアチューブのトップに接触するまで中にまっすぐ入れて下さい。

注意:スターナットには、ストレート1.5ステアチューブが必要とするヘッドセットは付属していません。ストレート1.5ステアチューブを使用する時、確実なベアリング・プレロード・インターフェースを作り出すために、クリスキング・プレローダーを使用する事をおすすめ致します。



•GripLock™の組み立て

グリップロックは既に組み立てられた状態で出荷されます。万が一、組み立てられていなかった場合、展開図に示した通りに組み立ててください。下記の順序に従ってください。

- ①薄い (J) ベアリングリング・オーリングを (I) ベアリングリングの外側にある溝に付けて下さい。
- ② (H) スプリットリングをベアリングリングに付けて下さい。
- ③ベアリングリングとスプリットリングをグリップロックキャップにパチンとはめこんで下さい。

•GripLock™の取り付けと調整

①装着している間、キャップ・オーリングを切断してしまわないよう、ヤスリやサンドペーパーを使用し、ステアチューブのカットされた外側と内側の鋭敏なエッジを取り除いて下さい。

②グリスをキャップOリングに薄く塗ってください。

③フォークをフレームに装着してください。

④組み立てられたグリップロックをステアチューブに取り付けます。大抵の場合、グリップロックはすんなりとステアに取り付ける事ができます。もし、キャップ・オーリングがステアチューブのトップ部分にて引っかかっている場合、オーリングを切断しないようにして下さい。やさしくキャップ・オーリングのサイドを押し、組み立てられたグリップロックを、一定の力で下に押し続け、少し回したり、揺すってみたりして下さい。

⑤注意：もし組み立てられたグリップロックが装着時にバラバラになってしまったら、『グリップロックの組み立て方』へ戻り、もう一度最初から装着を直して下さい。

⑥スカフ・ワッシャーを取り付け、そして必要なスペーサーを入れ、ステムをステアチューブに取り付けて下さい。ステムキャップ・スクリューをステムキャップとスターナットに通して下さい。5mmヘックスレンチを使用して、トルクを15 in.lbs (1.7 Nm) くらいで締めして下さい。

⑦ステムの位置を調整し、メーカーの仕様書に従って、ステムを固定して下さい。

⑧適切にヘッドセットが装着されているか確認して下さい。正しく装着されている場合は、フォークには遊びやきつい感じが無く、スムーズに回ります。数回乗った後に色々な事が起こるかもしれませんが、その都度調整を行なって下さい。

新しくセットアップした物については、50 ~ 100

•メンテナンス

クリスキングのヘッドセットは最小のメンテナンスにより最高の寿命を提供できるようにデザインされています。時折の調整のほかに、ベアリングのクリーニングやグリーシングが必要となります。ライディングのコンディションはどのくらいヘッドセットに対して調整をしているかがキーとなってきます。濡れるようなコンディションでは6ヶ月毎に必要となり、乾いた状態では5年に一度必要となります。

•ベアリングサービス

いかなる時でも、ベアリングキャップからヘッドセットのベアリングを取り除かないようにして下さい。クリスキング・シールド・ベアリングは、ゴムのシールドを抑えている取り外し可能なスナップリングが入っています。

①注意深く、小さなスクリュードライバー、ピック、またはペンナイフを使い、スナップリングとの間にこれらの道具を差し込みスナップリングを取り外します。ベアリングセンターに近いスナップリングを、完全に溝から出るまでやさしく外します。

②ベアリングの内部に到達するために、突き出た黒いゴムシールを取り外します。

③WD-40™のような軽いスプレー潤滑油で徹底的に洗い流し、そして完全に乾かして下さい。

④シールとスナップリングから埃やごみを拭き取ります。使用していたスナップリングやシールは、曲がっていたり、傷ついていた、壊れていなければ再装着させます。もし壊れていれば、リプレースメントはクリスキング・プレジジョン・コンポーネントから直接もしくは、クリスキングが許可したディーラーから受け取って下さい。

ある溶剤、合成潤滑油、高圧の添加剤が入ったグリースなどは、シールや他の非金属性の物にダメージを与えるかもしれません。影響を最小限にし、そして洗浄した後は徹底的に組み立てられたベアリングを乾かして下さい。

⑤防水性のグリースをベアリングのトップ回りに付けます。グリースがボールエリアまで届くように内側のレースを回して下さい。

⑥ゴムシールを、ベアリングレースの外側と内側の間にくるように再装着してください。

⑦ベアリングレースの外側の溝にスナップリングの端を装着します。スナップリングが完全にはまるまで、溝に沿って押し進めて下さい。小さな隙間が、スナップリングの両端に見えるようになっています。

⑧締め付けるために、ベアリングの内側のレースを手で回して下さい。もしベアリングがスムーズに動かない場合、①~⑧のステップをもう一度行なって下さい。締め付け (バインディング) はよくシールやスナップリングを誤って留めてしまう事があります。

使用していたスナップリングやシールは、曲がっていたり、傷ついていた、壊れていなければ再装着させます。もし壊れていれば、リプレースメントはクリスキング・プレジジョン・コンポーネントから直接もしくは、クリスキングが許可したディーラーから受け取って下さい。

•GripLock™の取り外し

①ステムキャップ、ステム、スペーサーをステアチューブから取り外して下さい。ゴムマレットもしくは手のひらでグリップロックのロックを外して下さい。ヘッドセットベアリングがダメージを負うので上からステアチューブを叩いたりしないで下さい。

•ヘッドセットの取り外し

①ヘッドチューブから、ベアリングではなく、カップ周辺の内側の端にスタンダードカップ・リムーバル・ツールを使って、気をつけながらカップを取り除いて下さい。

②フォークからベースプレートを取り外す時、ベースプレートを曲げたり、変形させたりする可能性を減らすためにクラウンレース・リムーバルツールを使う事をお勧めします。もし必要ならば、1/4"もしくは3/8"のドリフトパンチを代わりに使用する事もできます。曲げたり、変形させたりする可能性を低くするために、フォーククラウンのサイドを交互に打ち込むこと忘れないで下さい。

③フォークからベースプレートを取り除いた後、平行な場所にベースプレートを置き変形していないかを確認して下さい。もし、ベースプレートが平行に座らず、曲がったり変形していた場合、最適なベアリングのパフォーマンスのために取り替えなければなりません。

使用していたスナップリングやシールは、曲がっていたり、傷ついていた、壊れていなければ再装着させます。もし壊れていれば、リプレースメントはクリスキング・プレジジョン・コンポーネントから直接もしくは、クリスキングが許可したディーラーから受け取って下さい。

•保証

クリスキング・プレジジョン・コンポーネントは、購入時の日から10年間、欠陥があった場合は、部品交換、そして修理を無料で行う事をお約束しています。クリスキングが素材や技術に欠陥があること認め、いかなるクリスキングのプロダクトも、クリスキング・プレジジョン・コンポーネントの自由裁量で、工場へ送料が払われた状態で戻ってきた場合、修理もしくは交換されるようにしています。この保証は、使い方を間違ったがためのダメージ、乱用、改造、放置、通常で理にかなった消耗、事故、メンテナンスの失敗、製品の使われ方が意図しない方向で使用された場合、私達の全責任ではありません。もし欠陥が見つかった場合、私たちの全責任において、私たちのやり方において、無料の修理、又は交換を致します。クリスキング・プレジジョン・コンポーネントは、間接的で、とりわけ特別な、又は結果として起こるお客様のダメージにおいては責任を負いません。この保証は、製品にシリアルナンバーが変更されてたり、取り除かれていた場合は、保証は致しません。この書かれた保証書は他の保証書の代わりとして存在し、ディーラーによって作られた保証書や表示は保証致しません。この保証書は法律の元で守られ、州によって様々な権利が存在致します。

ご購入ありがとうございます。

Made in the USA

All Chris King Precision Components products are manufactured in the USA using industry leading environmental and quality control standards.

Printed with soy ink. Contains 100% post-consumer recycled paper fiber.

Chris King Precision Components
2801 NW Nela Street
Portland, Oregon 97210
800.523.6008
www.chrisking.com
info@chrisking.com